

成生地域づくり委員会だより

第24号
令和7年3月
地域づくり広報班

<http://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/machidukuri/naryu-chiiki.html>

第14期目の地域づくり委員会活動が早くも折り返し、もうすぐ1年が過ぎようとしています。みなさんのご協力のおかげで、各班の活動や地域づくりの活動も順調に進んでいます。ここで地域のみなさんに、これまでの各班の活動を紹介したいと思います。

まちづくり懇談会

9月19日（木）、市長と教育長を迎え、成生まちづくり懇談会を開催しました。懇談会には44名の方が参加してくださり、今後の市政の展望、地域の課題についてたくさんの意見が交わされ、有意義な懇談会となりました。



すくすくタッチ！

子育てママの交流と情報交換の場として「すくすくタッチ！」を毎月第3木曜日に開催しています。リトミック体操では、季節に合わせた衣装や遊びを取り入れながら、親子が触れ合う場となっています。更生保護女性会による絵本の読み聞かせもしていただいています。1歳から就園前の幼児を対象に、随時参加者を募集していますので、どしどしご参加ください。



成生地区文化祭

第50回成生地区文化祭が、10月26日と27日の2日間開催されました。地域づくり委員会の「人と自然を愛する会」では、自然で肌にやさしいEM石けんを販売しました。「成生っ子クラブ」は、だがしや楽校として、中学生と高校生のボランティアスタッフによる缶バッジづくりや射的、わたあめ、ミックスフルーツジュース、フライドポテトの出店で、子どもたちが楽しめる場を提供しました。また、文化祭2日目に開催された第43回市立成生公民館大会では、公民館表彰として委員会活動にご精励された5名のうち、当日お越しいただいた方々に表彰させていただきました。長年、委員会活動に貢献いただきありがとうございました。



成 生 っ 子 ク ラ ブ

成生っ子クラブでは、子どもたちのイベントを中心に行ってきました。

水辺の楽校

8月3日(土)、特設プールで「アユつかみ」を楽しんでもらおうと、水辺の楽校を開催しました。今回は、缶バッジづくり体験と植松憲一さんから歴史の話をお聞きしました。

また、押切川でのサケ学習会として、12月6日(金)に遡上観察会、3月12日(水)に稚魚放流を開催しました。遡上する姿はうまく見ることはできませんでしたが、最上川第二漁業組合の清野博昭さんがサケを捕まえて見せてくれました。サケ学習会をとおして、命の大切さを学んでもらえたと思います。



アユつかみ



缶バッジづくり



歴史の話

三世代交流事業「ふれあい交流会」

1月11日(土)、恒例のお正月行事となった三世代ふれあい交流会を開催しました。

おじいちゃんおばあちゃん、おとうさんおかあさん、そして子どもたちの三世代が、昔の行事や作業とおおしでの交流の場、伝統を伝える場として、団子木づくりと竹灯ろうづくり、餅つきをして会食を楽しみました。今年もたくさんの参加があり大盛況。みなさんに楽しんでもらえたと思います。作った竹灯ろうは、天童北部地域のフェスティバルにライトアップして展示いただきました。



竹灯ろうづくり



団子木づくり



餅つき

広 報 班

成生地域づくり委員会のホームページを開設しております。

アクセスは右のQRコード、または

「成生地域づくり委員会」と検索してください。

委員会ホームページはこちらから！

行事の告知や刊行物の掲載などを充実させていきたいと思っておりますので、ぜひご覧ください。



地 域 防 災 を 考 え る 会

防災・減災に興味を持ってもらおうと、「防災デイキャンプ」を開催しました。小学生の親子を対象とした研修会と、学童を対象とした研修会をそれぞれ開催しました。令和7年度も防災ワークショップを開催する予定です。



人 と 自 然 を 愛 す る 会

班員を2班に分け、各地区から公民館の回収所に集まってきたアルミ缶を、アルミ缶置き場が一杯となった時期を見て各班ずつ招集し、業者が準備しているフレコン袋に入れ替える活動を行っています。また、ペットボトルキャップも各地区から集まったものを大きい袋に入れ替えし、小学校でも行っているペットボトルキャップの回収活動と連携し、ある程度集まってから小学校に届けています。4月から10月までは朝6時から、11月からは、昼1時30分から実施し、合計で1年間活動した回数は10回。雑紙は集まったものをそのまま回収してもらいました。

令和6年度の回収実績：アルミ缶 1,632 kg、雑紙 548 kg

ご協力、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

●アルミ缶置き場所について



公民館玄関より左奥に見えます
アルミ缶は中に置いてください



※おねがい

回収しているアルミ缶の袋の中に、回収できないピンやペットボトルなどが入っていることがあります。処理するのに大変困っておりますので、混入させないように、ご協力をよろしくお願いいたします。